

令和5年度補助金等支出明細書

一般財団法人 日本食生活協会

| | | | |
|------------------------------|--|--------------|-----------|
| 1. 補助金等の名称 | 感染症予防事業費等補助金(地域の健康増進活動支援事業) | | |
| 2. 事業の目的及び内容 | <p>全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト ～健康づくりと地域づくりの二刀流の食生活改善推進員が挑む「ヘルスサポーター」の育成を通じた普及活動～</p> <p>日本食生活協会は、人は「健康」であることが「幸せ」になるための基本とし、昭和30年に設立。栄養指導車(いわゆるキッチンカー)の巡回により戦後の栄養改善指導等に取り組んだ。このキッチンカー事業を通じて、栄養・食生活改善は民間の活力と行政施策の調和によって実現できると認識され、住民ボランティアを巻き込み、「食生活改善推進員」として昭和45年に全国組織化を実現した。その後、食生活改善推進員は半世紀以上に亘り「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、みんな(住民参加型)でつくる「元気で長生き」健康なまちを目指し、食を中心とした、料理講習会や家庭訪問等を通して草の根の活動を展開している。</p> <p>現在、厚生労働省では令和6年度開始の「健康日本21(第三次)」(仮称)に向けた取組が進められ、ビジョンとして「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を掲げている。</p> <p>このビジョンを踏まえ、当協会ではこれまでの草の根活動の知識と経験を持つ食生活改善推進員が「ヘルスサポーター」を育成する。その後、ヘルスサポーターは食生活改善推進員と一緒に健康づくりのプレーヤーとなり、それぞれのネットワークを活用しながら地域で普及することで、「健康日本21(第三次)」(仮称)に向けた基盤づくりを図る。</p> <p>さらには「健康日本21(第三次)」(仮称)においても様々なライフステージにおける課題に沿った取組が重要とされ「健康日本21(第二次)」の結果を踏まえた取組を引き続き進めるとしている。</p> <p>そこで、第1弾、第2弾と2年間「若者」「働き」「高齢」のライフステージに応じた活動で培った知識と経験を踏まえた取組と、第2弾で実施した現在集計中のアンケート結果に基づき、行動変容に向けた仕掛けづくりの検証を行い「ヘルスサポーター」の育成と普及活動を進める上でより効果的な方法を見出しながら活動を進めていく。</p> <p>一方で、令和元年に策定の「健康寿命延伸プラン」では2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し75歳以上にすることを目標に掲げ誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指し「自然に健康になれる食環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」が求められている。さらに介護予防・フレイル・認知症予防においては「通いの場」の拡充や「共生」が示され、健康を支え、守るための社会環境の整備としてソーシャルキャピタルの醸成の重要性が言われている。</p> <p>そこで「ヘルスサポーター」の育成に着手することで地域とのつながりの強化や主体的に健康づくりを進める人の増加、さらには社会参加を促し、「誰一人取り残さない社会の実現」を図る。</p> | | |
| (1) 目的 | | | |
| (2) 具体的な内容 | <p>1)運営委員会 事業の企画・運営等について協議した。</p> <p>2)道府県・市協議会市町村単位説明会 各市町村協議会長を集め、事業の主旨を説明し理解を図り活動内容の共有・情報交換を行った。</p> <p>3)スキルアップ講習会</p> <p>【若者世代】 食事バランスの偏りややせ、食塩摂取量や野菜摂取量の課題がみられることから、日々の生活習慣・食生活チェック、また、実際に塩分測定器を活用した自宅のみそ汁等の塩分量等を体感することで、「自分事」として課題を見出し、若い世代からの食習慣がのちの生活習慣病につながることを伝えた。全国278地区、ヘルスサポーター6,065名</p> <p>【働き世代】 多様なライフスタイルによる不規則な食生活、さらには肥満傾向や運動不足、食塩摂取量や野菜摂取量等の課題もみられることから、まずは、自分の健康状態の把握、そして、日々の生活習慣・食生活チェックや実際に塩分測定器を活用した自宅のみそ汁等の塩分量等を体感することで、「自分事」として課題を見出し、生活習慣病予防のための健康チェックの習慣化の必要性を伝えた。 全国281地区、ヘルスサポーター4,607名</p> <p>【高齢世代】 仲間づくりをしやすい少人数で講習会を実施し、高齢者の居場所づくりや共食の場の提供を図った。また、低栄養予防のためのランチョンマットやシニアカフェドイル(脳トレ)等を活用しながら、みんなで楽しむことで、日々の生活に活力や充実感を生み出すきっかけとし、地域のつながりの大切さや社会参加を促進した。併せて、骨折・転倒予防のために身近なご当地体操や手軽な筋トレなども加え口コモ予防にも取り組んだ。全国956地区、ヘルスサポーター18,670名</p> | | |
| 3. 交付実績額 | 60,000 千円(A) | | |
| 4. 補助金等における管理費 | | | |
| (1) 人件費 | 0 千円 | | |
| (2) 一般管理費 | 0 千円 | | |
| (3) その他の管理費 | | | |
| | 内容 | 金額 | |
| | | 0 千円 | |
| | | 千円 | |
| | 合計 | 0 千円 | |
| | 合計 | 0 千円 | |
| 5. 外部への支出 | | | |
| (1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出 | | | |
| | 支出内容 | 支出先 | 金額 |
| | | | 0 千円 |
| | | | 千円 |
| | 合計 | | 0 千円(B) |
| (2) (1)以外の支出 | | | |
| | 支出内容 | 支出先 | 金額 |
| | 旅費 | 委員会・講習会旅費 | 4,307 千円 |
| | 報償費 | 委員会謝金 | 55 千円 |
| | 消耗品費 | 講習会材料代他 | 19,080 千円 |
| | 印刷製本費 | 星光社印刷他 | 28,289 千円 |
| | 通信運搬費 | 郵便他 | 2,322 千円 |
| | 借料及び損料 | 貸会場業者等 | 4,944 千円 |
| | 委託料 | アンケート調査集計解析費 | 1,000 千円 |
| | 合計 | | 60,000 千円 |
| 6. その他 | | | |
| | 内容 | 金額 | |
| | | 0 千円 | |
| | 合計 | 0 千円 | |
| 7. 再補助・再委託等の割合 | 0.0 % (B/A) | | |

(注)千円未満は切り捨て